

# 自分の命は自分で守る！みんなで守る！

寒河江小では、ゴールデンウィーク前までに、交通安全教室や避難訓練、そして教職員による不審者対応訓練など、命を守るための学習を実施しました。

特に、1・3・5年生は、市交通安全専門指導員の軽部さんからの講話や歩行・自転車の路上講習を実施しました。また、3年生の交通安全教室では、地区の交通指導員の方や多数の保護者の皆様などからご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



なお以下は、火災発生を想定した4月26日（金）の避難訓練時の校長の話です。

今日の避難は4分10秒でした。この数字はよく覚えていてください。これからの避難訓練の時の1つのめやすにしていきたいと思います。

それでは、今日の避難訓練について、みんなでふり返ってみましょう。

まず今日は、避難訓練ができて本当によかったと思います。やはり訓練したことは「いざ」という時に役立ちます。みなさんもテストや大会など本番の前に、しっかり練習してのぞみますよね。

さて、今日の避難訓練で命を守るための一番のポイントは何だったと思いますか。

それは、最初の火事の放送をしっかり聞いていたかどうかです。

後で教室に戻ったら、どんな放送だったのか、担任の先生と確認してみてください。

どこで火事が起きたので、どこへ逃げればいいのかをわからなければ、正しい避難ができず、自分の命、そしてみんなの命を守ることはできません。

前期始業式や入学式でも話をしましたが、しっかり「聞く」こと、毎時間の授業や様々な活動の中、そして友達との話などでも大切にしていきたいです。

みなさんには、まちがいなく「聞いて動く」力が育ってきていますね。

日本各地で頻発している地震などのように、災害は、いつ起きるかわかりません。

また、「歩行中事故が多いのは小学1・2年生！」「自転車事故は小学3年生から増加！」というデータがあります。（『JAF Mait（ジャフメイト）2024年春号』より）

ぜひご家庭でも、災害や事故などについて様々な機会に話題にいただき、子どもたち一人一人が自分事として捉え、「自ら考え、判断し、行動すること」、そして、「自他の命の大切さ」について、今後も一緒に考え、大事にしていきたいと思います。